

〈授業像に込められた願い・・・〉

〈1回目の話し合い〉

まず、最初に「授業は誰のものであるか」について話し合った。授業は私たちを成長させてくれる私たちのものであるという意見が多く出された。

次に、「目指すべき良い授業とは何か」についての話し合いを行った。子供たちから出た意見をまとめると、①楽しい ②力が付く これを満たす授業が良い授業であるということだった。

そこで、「楽しい授業とは何か」について、さらに掘り下げて聞いていくと楽しいと感じるときはについて以下の意見が出た。

- ・授業の内容が分かるとき。
- ・疑問が納得に変わったとき。
- ・楽しい活動があるとき。
- ・友達と相談して何かを作り上げるとき。
- ・発表できたとき。

話し合いを聞いていると、この中でも、「発表ができたとき」については充実感や達成感は一際強く、逆に発表できない自分に対する劣等感を子供たちが感じていることが伝わってきた。

「力が付く授業とは何か」について、どうすれば力が付くのかを考え、以下の意見が出た。

- ・一人も見捨てない。
- ・全員が真面目に取り組む。
- ・苦手を克服し、成長しようとする。
- ・みんなと相談する。
- ・メリハリをつける。
- ・自分の意見を持つ。

〈2回目の話し合い〉

2回目の話し合いでは、「どうしたら発表ができるのか」について話し合いを行った。

- ・一歩出る勇気を持つことが大切。
- ・まずは、自分の考えを持つことが大切。
- ・周りや相談したり、確認したりすると発表しやすい。
- ・一人一人が聴く耳を持って、友達の話聞くこと。

上のような意見が出る中、疑問を出すことも大切な発表であることを教師から伝えた。また、反応を返すことの大切さについて、反応があると聴いてもらっている安心感が生まれることや、意見が価値付けられることで話し合いの方向性が定まったり、学びが深まったりすることを伝えた。発表することだけが授業で活躍しているということではないと確認した。

〈3回目の話し合い〉

「楽しく力の付く授業」のためには何が必要なのか、整理をした。

- ・聴くこと
- ・反応すること
- ・全員で協力し、相談すること
- ・一歩踏み出す勇気を持って発表すること
- ・以上の4点にメリハリをつけること

これらが相互に係わり合い、どれも大切であることを確認した。

〈4、5回目の話し合い〉

今までの話し合いで出た、授業の必須条件に加え、授業のきっかけであり、その土台となるものが疑問であるという考えが出された。

そして、これらを意識できるキャッチフレーズ（モチーフ）を決め、それを授業像にすることにして、意見を募った。

- ・みんなの成長を記録していくノート
- ・疑問・発表・聴く・反応・相談の栄養をバランスよく取り、成長できる特製カレー

- ・聴くという石垣の上に、反応すること、相談すること、勇気を持って発表することを積み上げていく成長の城
- ・疑問・発表・聴く・反応・相談の根から育つ成長の木
- ・落ちてきた疑問のブロックを疑問・発表・聴く・反応・相談のブロックを組み合わせることで消し、成長ポイントに変えるテトリス
それぞれのモチーフに詰まった思いを熱く語る姿やそれぞれの意見にしっかりと耳を傾ける子供の姿が見られた。話し合いの末、モチーフをテトリス授業と決めた。

<5回目の話し合い>

テトリス授業の意味するものを共通理解し、授業像を決定した。

- ・落ちてきた疑問のブロックを疑問・発表・聴く・反応・相談のブロックを組み合わせることで消し、成長ポイントに変える授業。
- ・疑問を解決してスッキリしたい。
- ・ブロックを協力して組み合わせることが大切。
- ・どれか一つのブロックが足りなければ、スッキリできない。
- ・どんなブロックを自分が今出しているのか考え、メリハリをつけることが大切。

<授業像達成のための具体的な手立て>

- ①子供たちに疑問を抱かせる課題を設定する。
- ②自分の意見を整理し、相談のしやすいノート、板書づくりを行う。(思考ツールの利用)
- ③成長を感じることでできる振り返りの場を設定する。
- ④「授業の中のキラリ」と称して黒板の一部に授業像達成につながる好ましい表れを書き出す。
- ⑤分かったことよりも分からないことを発表できることを価値付ける。分かったつもりにさせない。教師が積極的に問い直す。
- ⑥発表できなくても自分の考えを持って授業に参加し、疑問を持ち、聴き、反応し、相談することができると褒め、自己肯定感を底上げする。
- ⑦学習課題に対するつぶやきや友達の見解への反応、リレー形式の指名を称揚する。
- ⑧課題についての意見を持つまでの個別支援に力を入れる。
- ⑨教師がノートに書かれた意見の価値付けをする。(吹き出し等で思考の過程を書かせることで教師が思考を見取りやすくし、また子供のメタ認知を高めていく。)